

平成18年度実績評価事務事業進行管理表

665-424

事務事業名	堆肥センター管理運営委託事業				財務会計上の位置付け	会計	款	項	目	細目	細々目	19予算額(千円)	
部等名	産業経済部	課等名	農業課		包含する細々目	1	6	1	2	10	1	1,619	
政策	5人の営みと自然・環境が調和したまちづくり												
施策	56 廃棄物の減量と適正処理												
実施区分	継続	会計	一般会計	環境調整会議		済み							
		事業期間	16	年度～	年度	家畜排せつ物の管理の適正化及び利用の促進に関する法律 関連計画 条例等							

【Do】(1)この事務事業は次の目的を達成することを目指します。

目的の記述	対象(人や物、自然資源など)	対象の大きさを表す対象指標名と単位	対象指標の数値				
	旧市内の家庭生ごみ	旧市内の家庭生ごみ搬入量(t)	現状又は19年度見込	23年度又は終了年度		23年度以前に終了した終了年度とする	
			161	1095			
			現状又は19年度見込	23年度又は終了年度			
	意図(成果は何か、対象をどうかえるか)	成果達成度を表す成果指標名と算定式・単位	成果指標の数値(実績・目標)				
	堆肥化する	堆肥生産量(t)	18目標	1700	最終目標	2000	
			18実績		19目標	1800	↑
			23目標	2000	23実績		最終目標達成年度
			18目標		最終目標		
		18実績		19目標		↑	
		23目標		23実績		最終目標達成年度	

(2)意図を達成するために以下のことを取り組みます。

手段の記述	事業の全体概要(補足説明)	具体的活動内容(やり方、手順、詳細)	活動量を表す名称・単位	活動量の値	
	18年度の実績	堆肥センターは平成16年6月に本格稼働し、市内で発生するきのこの廃培地(6t/日)を水分調整材に、市街地の家庭生ごみ等(3t/日)を発酵促進材に、畜産農家の畜ふん(10t/日)を主原料に、リサイクル発酵堆肥を生産し、市内中心にバラ・袋づめの2形態で販売している。 当該施設は、JA、事業参画農家(6戸)、飯田市の出資により設立した「有限会社いいだ有機」に管理運営を委託しており、独立採算での事業運営がなされている。 本会社の主たる収入は、堆肥原料(畜ふん、生ごみ、きのこ廃培地、事業系生ごみ)の処理経費相当分及び堆肥販売収入であり、市では、中心市街地の家庭生ごみ及び公共施設(丸山共同調理場、東・西中、浜井場・追手町・丸山小・市役所)生ごみの処理経費相当額を委託料として支出している。 また、当該施設用地、8,827㎡分は借地として市が借地料を負担している(地権者2名 契約期間20年)。 機械設備の定期検査(車検)、環境影響調査は施設所有者である市が行っている。	・管理運営委託料(生ごみ処理経費を算出根拠とする) @3,000円(@2,000円/2t×1.5台/日)×365日 = 1,095,000円 ・環境影響調査 定期臭気・水質検査委託料 @63,000円×1回 = 63,000円 ・用地借地料(年間分) @25.1円×8,827㎡ = 221,646円	1. 法人役員会回数 2回 2. 総会回数 2回 3. 定期環境調査回数 1回	
		19年度計画	・管理運営委託料(生ごみ処理経費を算出根拠とする) @3,000円(@2,000円/2t×1.5台/日)×365日 = 1,095,000円 ・環境影響調査 定期臭気・水質検査委託料 @63,000円×1回 = 63,000円 ・用地借地料(年間分) @25.1円×8,827㎡ = 221,646円 ・ホイールローダー車検費用 車検整備196,203円 + 自賠責・検査印紙料14,520円=210,723円	1. 法人役員会回数 2回 2. 総会回数 2回 3. 定期環境調査回数 1回	

<金額の単位:千円>		18決算額(見込)	19予算額(当初)
事業費	特定財源		
	国庫支出金		
	県支出金		
	起債		
	その他	0	
一般財源	1,409	1,619	
事業費計(A)	1,409	1,619	
人件費	正規職員所要時間	18年度 80	19年度 80
	臨時職員等所要時間		
	人件費計(B)	286	286
	トータルコストA+B	1,695	1,905

特定財源内訳や補足事項	
-------------	--

(3)この事業目的の達成は、次の上位(施策や主体の役割)目的の達成に結びつきます。

目的の記述	結果 この事務事業の施策(基本事業)の目的	上位成果指標(施策又はムトス指標)と単位	上位成果指標の数値			
	適正に処理・リサイクルされる	再資源化率(家庭系一般廃棄物) %	現状値	34.4	19実績	
			20実績		21実績	
			22実績		23目標	35
			現状値		19実績	
			20実績		21実績	
		22実績		23目標		

<p><b>この事業を開始したきっかけ</b></p> <p>堆肥センターの建設は生ごみの焼却や、家畜排泄物・きのこの廃培地の野積み・素堀り処理による環境負担の低減、化学肥料や農薬の多投で収量低下を来している農地の地力再生、地域内の食農循環の再構築(「地域から出る有機性廃棄物を資源に堆肥を生産し、この堆肥を使って果樹園・畑・田んぼの土づくりを進め、この土からできる農作物をできるだけ地域内で消費していく」地域内循環の姿をつくり出すこと)といったきっかけになっている。</p>	<p><b>事業を取り巻く状況の変化</b></p> <p>・農住混在による周辺環境の変化から、悪臭等畜産に起因する環境問題が取り上げられることが多くなってきている。          ・家畜排せつ物の施行による飼養管理基準が定められ、ふん尿の適正処理、野積みの禁止等が定められた。          ・生ごみの焼却処理による環境負担の増。</p>	<p><b>事業に対する市民や議会の意見</b></p> <p>市民からは、畜産公害排除要請がある。議会からは家畜排せつ物の市の対応を質問され、畜産農家からは、ふん尿処理施設整備に対してする支援を求める声が高い。          ・安心安全な農畜産物を求める消費者の声が高まってきている。</p>
--	--	---

**【See】18年度の振り返り**

目的妥当性評価	<p>この事業の意図の達成が、結果(上位目的)に結びついていますか？</p>	<p>(評価) <b>結びつく</b> (その理由)          生ごみを資源として利用し、リサイクル堆肥を生産することは、上位目標の再資源化率の向上に結びつく。</p>	有効性評価	<p>成果をさらに向上させる余地はありますか？</p>	<p>(評価) <b>余地がある</b> (その理由)          ・中心市街地の生ごみ収集率の向上に向けた意識啓発が必要。          ・耕種農家と連携をしたりリサイクル堆肥の利用拡大の余地有り。</p>
	<p>対象の見直し、拡大、縮小の必要性はありますか？</p>	<p>(評価) <b>必要性がない</b> (その理由)          現段階では、中心市街地の収集率の向上が優先である。</p>		<p>廃止・休止した場合の影響はありますか？</p>	<p>(評価) <b>影響あり</b> (その理由)          燃やすごみとしてクリーンセンターへ搬出される量が増加し、焼却処理による温暖化等の環境への影響が考えられる。</p>
	<p>意図の見直しの必要性はありますか？</p>	<p>(評価) <b>必要性がない</b> (その理由)          ・生ごみを資源として利用するためには、堆肥化が有効であるため。</p>		<p>他に類似事業はありますか。また統合の可能性はありますか(市以外の取組も含む)？</p>	<p>(評価) <b>類似事業なし</b> (類似事業名、理由)</p>
	<p>市が関与する必要性はありますか？(市が税金を投入すべき事業ですか)</p>	<p>(評価) <b>必要ある</b> (その理由)          地域環境への負担の低減、堆肥を使った土づくりの推進、食農循環のモデル構築は、市全体の取り組みとして必要なため。</p>		<p>効率性評価          成果を下げずに、事業費や人件費の削減は可能ですか？</p>	<p>(評価) <b>不可能</b> (その理由)          委託先である有限会社いいだ有機は、出資者(飯田市、大原酪農組合、みなみ信州農協)の有機連携により事業活動を行っており、会社の健全運営を行うために3者が協同で費用負担をし合う形態をとっているため。</p>
			公平性評価	<p>受益者は誰ですか？また、負担の是非、程度は妥当ですか？</p>	<p>(評価) <b>妥当である</b> (受益者とその理由)          家畜排せつ物の適正管理、堆肥の有効利用を図ることにより、環境負荷の軽減、悪臭防止及び食農循環へ大きく影響するため、受益者は市民全体と考える。</p>

**【Plan】改革改善**

<p><b>今後の事業の方向性</b></p> <p><input type="checkbox"/> 終了  <input type="checkbox"/> 廃止  <input type="checkbox"/> 休止  <input type="checkbox"/> 目的見直し  <input type="checkbox"/> 別事業に統合  <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善  <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持</p> <p>実施年度 <span style="color: green; font-weight: bold;">→</span> <b>具体化</b></p> <p>上記の改革改善案を実施する際、想定される課題とその克服方法</p>	<p>何を、いつまでにどうするのかの改革改善案</p>
--	-----------------------------

**【補足事項環境側面】**

<p>(1) 環境影響評価の必要性判断</p>	<p>必要性がある</p>	<p>(2) 必要性な場合の実施事由</p>	<p>2- その他、必要が生じたとき</p>
<p>(3) どのような点に配慮し事業に取り組みましたか？</p>	<p>周辺水質検査及び臭気検査を実施。</p>		

**【指摘事項】**

<p>施策マネジメント会議</p>	
<p>施策評価会議</p>	
<p>第5次基本構想基本計画推進委員会</p>	